

# 大会決議 『再建20周年！新たな飛躍を！ たたかいの輪を広げ、脱原発、安保条約廃棄の運動を強化しよう！』 を採択！

**2012年度 茨城県平和委員会大会**  
6月17日(日) 県立青少年会館(水戸)で開催



大会は70人が参加し、水野代表理事の司会で、議長に近藤常任理事（土浦）、山口常任理事（石岡）を選出しました。伊達県平和委員会代表理事、佐藤日本平和委員会代表理事、「大内久美子」日本共産党茨城県議会議員、3人の挨拶のあと議事に入りました。

木村事務局長が、「取り組みの報告」、「方針」、「財政」が報告され昼休みに入り、DVDの上映がありました。午後から討議に入り、19人の代議員が発言しました。安保と沖縄の米軍基地撤去のたたかい、さよなら原発4、1県民集会、震災復興支援、地域運動の発展、東海第二原発廃炉の自治体請願（陳情）、平和行進、夏のパネル展、仲間づくり等、多彩な内容でした。また新理事、会計監査が選出されました。水野代表理事の進行で理事会を開催し、常任理事、代表理事、事務局長が選出されました。

大会決議を含め、すべての議案が承認され、午後4時過ぎ、植田代表理事の閉会挨拶で大会が終了しました。

## 代表理事・来賓のあいさつ



**伊達郷右衛門・県平和委員会代表理事**  
今年には県平和委員会再建20周年の年。再建以来、会員相互の持ち味を出しあって活動を進めた。再建以来3つの柱をもとに運動を進めた。①地域の要求運動を大切にす。②地域から運動を進め、地域の組織を作る。

③財政の確立。という3本の柱だ。

活動のスタイルは、1人が50歩進むということではなく、50人が一歩を進むことを目標に掲げた。現在、県内に36組織結成され、さまざまな運動を進めている。再建20周年を期し、さらに共同の輪を広げよう。



**佐藤光雄・日本平和委員会代表理事**  
平和をめぐる世界は、武力でなく、地域の平和を守ることを基調として進んでいる。世界は、核兵器廃絶交渉を開始するという最高の到達点に入りつつある。アジアでも大きな変化が生まれている。

国民は3、11大震災と東電福島原発事故以来、真正面から政治のあり方や子どもの未来を考えざるを得ない状況となった。憲法前文と9条、25条が光り輝いている。今後「そもそも安保条約とは」の学習と、共同の運動がますます重要になる。仲間をつくって大きく運動を広げよう。



**大内久美子・日本共産党茨城県議会議員**  
国民の生活を破壊する消費税増税が民主・自民・公明の三党密室協議で強行されようとしている。消費税に頼らなくて

も国の財政の建て直しはできる。

東海原発事故の避難は実現不可能だ。知事は再稼働に関して自らは判断しない。茨城から原発の廃炉を実現させることは大きな意義がある。

安保条約がアメリカ言いなりの日本をつくっている。安保の本質を草の根運動で明らかにする。安保条約10条を適用で通告後1年で廃止になる。展望を持ち連帯して運動しよう。

※ 茨城県平和委員会大会の発言集は次号に掲載。致します。

.....  
●次号は、日本平和委員会全国大会が6月30日～7月1日●  
●に開催される為、7/5号と7/15号の合併号となりま●  
●すので宜しくお願いします。●  
.....

## 『世界一危険な基地に、もっとも危険なオスプレイはいらない！』



(写真：共同通信)

6月17日、沖縄県宜野湾市で「普天間飛行場へのオスプレイ配備等に反対し、固定化を許さず早期閉鎖・返還を求める宜野湾市民大会」に県内全域から5200人（主催者発表）が集結、配備反対の声をあげました。  
**宜野湾市議会が初の全会一致での反対行動をおこなう！**

### 『事務局からのお詫び』

前号の平和かわら版NO.627(6月15日号)は、印刷の不幸で2面が上下逆さまになってしまいました。用紙節約の為、そのまま発送致しました。読みづらい点があったかと思えます。お詫びし、今後間違えのないように致します。

## 平和新聞

2012年6月25日(月曜日)

1990号(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

## 平和かわら版

平和新聞茨城版

No. 628

2012.6/25

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

# 「茨城県平和委員会再建20周年記念の集い」のお誘い

・@茨城県平和委員会は1991年に再建されました。このたび多くの方々のお力添えを頂きながら20周年を迎えることができました。

これもひとえに、みなさま方のご協力とご支援のたまものと感謝しております。ありがとうございます。

再建20周年を記念し、初心に返り今後の連帯ととりくみの強化を願い、右記の日程で「再建20周年の集い」を開催する運びとなりました。

お忙しいとは存じますが、会員のみなさまは、お誘いあわせでぜひ参加下さるようお願い致します。



「茨城県平和委員会20周年記念事業」  
実行委員会

[と き] 2012年7月21日(土)

\* 午後1時 : 開会  
○記念の集い

\* 午後2時 : ○レセプション  
○交流会

\* 午後4時 閉会

[と ころ] グリーンパレス石岡 大会議室(2階)

〒315-0042 石岡市茨城3-16-20

(TEL.0299-23-2045)

[参加費] 3,000円

## 大会決議

再建20周年! 新たな飛躍を!  
たたかひの輪を広げ、脱原発、安保条約廃棄の運動を強化しよう!

昨年3月11日の福島原発事故で「安全神話」は崩壊し、廃棄物の処理方法も確立していない未熟の技術であることが国民の前に明らかになりました。過酷事故が起きれば、生活の場そのものが再生不可能になり、天文学的な処理費用がかかることも明らかになりました。

私たちは、核兵器の「核」も原発の「核」も同じ「核」であるという視点で、多くの仲間と共同の運動を進めました。しかし野田政権は、多くの国民の声を無視し、福島原発事故の原因も究明もないまま、大飯原発再稼働を強行しようとしています。許せるものではありません。

県内では、「東海第二原発を廃炉に」の署名が、17万2000名を超えました。また12自治体で「廃炉の意見書」が採択されました。脱原発の世論は急速に広がっています。再生可能エネルギーへの転換を視野に、運動を大きく発展させましょう。

沖縄問題は、憲法を活かし、自衛隊の海外派兵に反対し、沖縄の米軍基地撤去の声を実現するとりくみです。返還された沖縄米軍基地の跡地は、沖縄県の調査でも雇用誘発者数で2.7倍、生産誘発額も2.2倍に増えています。「基地返還は移設や機能強化が前提」、という実現不可能な提起を可能にしているのが日米安保条約です。「憲法を守り活かそう」の声は国民の多数派です。「沖縄県民の命と暮らしを最優先させる」という願いを実現するために、運動をいっそう強めましょう。

消費税では、私たちの生活を根底から破壊する「消費税増税の実施」が、民主・自民・公明三党の密室協議で大きな山場に差し迫っています。国民、特に低所得者層の生活をおびやかす消費税は国民の力で阻止するしかありません。消費税に頼らなくても道は開けます。

5兆円にもおよぶ軍事費の大幅削減や大企業優先の経済政策を改め、TPPのたたかひと同様、広範な自治体、農協、漁協、生協、消費者団体等、各分野のたたかひを広げましょう。

国民に対するこれらの攻撃の根源に日米安保条約があります。根本的な解決には安保条約の廃棄しかありません。今年には日本国憲法施行65年、日米安保条約60年、沖縄復帰40年という節目の年です。また県平和委員会再建20周年の年でもあります。私たちは草の根運動のさらなる強化で、「世論と運動が民主主義を切り開く」という確信を持ち、新たな前進を勝ち取りましょう。

2012年6月17日 茨城県平和委員会大会

# さようなら原発 10万人集会

7/16 MON  
(海の日)

会場 代々木公園 イベント広場・ケヤキ並木・サッカー場

時間  
メインステージ 12:30 ~ オープニングコンサート  
13:00 ~ メイン集会(14:00まで)  
13:30 ~ パレード出発(解散地点: 明治公園、他)

サブステージ 11:00 ~ 15:30ころまで  
●11:00ころから脱原発・エネルギー関係のブースが出ます。

呼びかけ人 さようなら原発1000万人市民の会  
内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、  
澤地久枝、瀬戸内寂聴、辻井喬、鶴見俊輔



### 注意事項

- 1 当日はJR「原宿駅」が大変混雑が予想されます。できるだけ「渋谷駅」または地下鉄千代田線「代々木公園」または「明治神宮前」、小田急線「代々木八幡」をご利用ください。
- 2 当日は暑さ対策として、帽子、タオル、飲料水のご用意を各自でお願いします。なおゴミも各自お持ち帰りいただいています。